

# 産学連携による実践型人材育成事業

## 資料2

サービス・イノベーション  
人材育成推進委員会(第5回)  
H20.2.20

平成20年度予算案 733百万円(534百万円)

大学等において、産学連携による実践的な環境下での教育プログラムの開発を通じ、実践型人材の育成を図る。テーマについては、各種政策提言等による政策ニーズ、産業界からの要望、大学等における教育研究の実施状況などを踏まえて分野を設定。

多様な社会の要請に対応できる人材、新たな産業を創出する創造性豊かな人材の育成が可能に

### 長期インターンシップ・プログラム開発(平成17年度~)

- ◆一定の専門性を有する優秀な学生を対象
- ◆企業の実践的環境における質の高い長期のインターンシップ・プログラムを産学が協同で開発・実施(単位認定を前提)【5年間継続】
- ◆より高い専門性・実践的能力を涵養

### ものづくり技術者育成(平成19年度~)

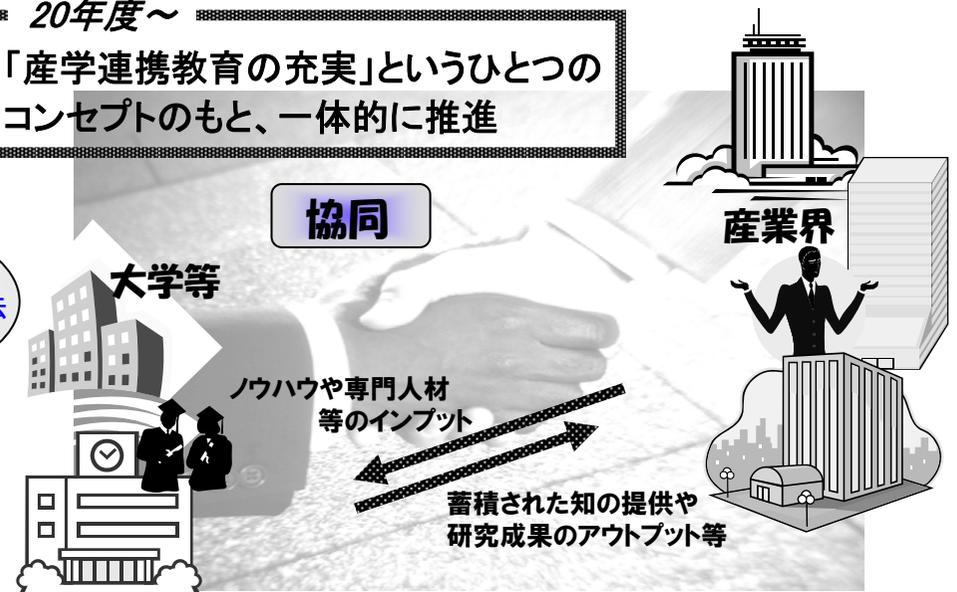
- ◆大学等と地域、産業界と連携した実験・実習と講義の有機的な組み合わせによる教育プログラムを開発・実施
- ◆ものづくり過程の全体を見渡し技術の目利きをすることができるものづくり技術者を育成【3年間継続】

### サービス・イノベーション人材育成(平成19年度~)

- ◆経済学などの社会科学、工学などの自然科学等の融合等による新たな知識の体系化を通じた教育プログラムを開発・実施
- ◆ビジネス知識、IT知識、人間系知識等を兼ね備えた、サービスに関して高いレベルの知識と専門性を持った人材を育成【3年間継続】

例えば...  
実践的な環境下における先進的な教育手法等の成果の循環

20年度~  
「産学連携教育の充実」というひとつのコンセプトのもと、一体的に推進



教育プログラムの開発 ⇒ 教育の実施  
(カリキュラム、教材等)

モデルプログラムとして  
他の大学等へ普及展開

実践型人材の育成が実現